

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援ポニー		
○保護者評価実施期間	6年 12月 1日 ～ 7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	6年 12月 1日 ～ 7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・言語聴覚士、作業療法士、臨床発達心理士等を配置し、専門性を生かした支援を行っている。	・標準化されたアセスメントを行い、専門的な支援を行っている。	・言語聴覚士を増員する。
2	・保健センターの保健師や発達相談員と連携が取れている。	・積極的に情報交換を行っている。	・より連携を深める。
3	・保育所等訪問支援を行い、専門性を生かした支援を行い、地域連携を図っている。	・積極的に情報交換を行っている。	・より連携を広め深める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・相談支援事業所、他の発達支援事業所との連携が不十分。		・連携をとっていく。
2	・保護者との面談が十分にできていない場合がある。		・必要に応じ、6か月を待たず、中間の評価・モニタリング、面接を行う。 ・保護者に、意見や疑問点、相談したいことがあればいつでも申し出るよう周知する。 ・子育てや家庭での支援についても積極的に助言する。 ・グループ活動の場合、保護者へのフィードバックが不十分な場合があるので注意する。
3			